座談会　神谷 俊さん × 菅原 清保さん × 寺師 宗近さん

教授との濃密なやりとりで、論理的思考が極限まで深まる!

22年で約900名のMBA取得者を輩出した「法政ビジネススクール」の魅力とは?

今年、開設から22年目を迎えた法政大学大学院経営学研究科経営学専攻夜間コース。(通称法政ビジネススクール、以下HBS)
社会人向けビジネススクールの草分け的存在で、これまでに約900名以上のMBA取得者を輩出している。なぜそこまで成果が出ているのだろうか。修了生と在学生の計3名に、その魅力を語ってもらった。

都心でアクセス良好、費用対効果の高さも魅力
――法政ビジネススクール(以下HBS)で学ぼうと思ったのはなぜですか。

神谷　私は、クライアント企業の人事制度設計や能力開発支援の仕事をしています。会社で携わっていた教育ビジネスにおいて、「効果的」と言われている施策が本当に効果があるのか疑問に感じることが多く、専門的な見地から研究を進めたいと思い、人材・組織マネジメントコースに入学を決めました。

菅原　私は転職して今の仕事に就いてから、購買履歴のデータ分析などを行っています。前職でもマーケティング・リサーチをやっていたんですが、今の職場では通常の事例があてはまらないんです。だから、それまでの手法が通用しなくて困ってしまい、改めてマーケティングを学び直そうと考えました。あとは、周囲に社会人大学院で学んでいた人が多く、みんなイキイキしていたのが羨ましかったのも大きなきっかけでした。

寺師　私はずっと海外相手の仕事をしていますが、学ぶことで業務の幅が広がることに気付いたのは、TOEIC®を受験してからです。それまでは電話が鳴るたびにビクビクしていたんですが、一念発起して勉強したら、一気にスコアが100点ほど上がったんです。自信を持って海外とやりとりできるようになりましたし、「努力の成果が形で見える嬉しさ」に気付いたのは大きかったです。それで、ワンランク上の資格を取りたいと思ってMBA取得を目指したんです。中でもHBSを選んだのは、他のビジネススクールと比べて格段に学費が安いから(笑)。

神谷　学費の安さは確かに魅力的です。他の大学院と比べると半分くらいじゃないですか? それでいて教授陣やカリキュラムは充実していますし、マンツーマンレベルの少人数でじっくり学べるので、費用対効果は非常に高いと思います。

菅原　私は、都心でアクセスが良いのもHBSを選んだポイントでした。仕事を終えてから通うので、遠いところだと通学時間が負担になりますから。

寺師　修士論文の作成が課されているのも魅力でした。自分の問題意識を突き詰めて考えるのを教授にサポートしてもらえるわけですし、将来博士号の取得を目指すという選択肢も広がります。

潜在的な問題意識を引き出し、視野の広がりを養う学び
――実際に学んでいかがでしたか? 印象に残った教授の言葉や、得た「気付き」などありましたら教えてください。

神谷　「教育を語ることは誰でもできる」との教授の言葉が特に心に残っています。その分野のプロフェッショナルならば、教育施策の有効性について研究されている理論を踏まえ、科学的に考察した上で厳密な言葉で語るべきであるというわけです。特に、論文執筆の過程ではその言葉の意味を実感しました。調査を進めながら実に多くの文献を目にする中で、自身の問題意識についていかに多くの研究がなされているかに気付かされました。今まで、狭い視野で自らビジネスをとらえていたのだと痛感しました。

菅原　視野が広がるというのは同感です。実は入学当初、研究というよりも、いろいろな知識を吸収したいとの意識が強かったんです。だから、学んだことをどうやって自分の研究につなげたら良いか悩んだ時期もあったんですが、「知りたいことにこだわりなさい」との先生の言葉に救われました。実際、自分の中に湧いた問題意識に素直に従って追究していくと、徐々に仕事と学びの内容がつながっていくんです。その都度、先生が示唆に富む言葉をかけてくれるのもありがたかったです。

寺師　宿題が思っていた以上に多いことには驚きました。特に1年時に受講した国際経営論は多かったです。論文や財務諸表の読み込みからケーススタディまで多岐にわたるので、時間のやりくりが大変でした。大学受験のときでもこんなには勉強しなかったです(笑)。そのおかげで、英語の読解力や社会人としての基礎力が飛躍的にアップしたと思います。

修士論文の作成で得られる高い論理性とマネジメント力

神谷　でも、1年生のときはやらなければならないことがはっきりしているので、労力をかけた分の進捗が得られます。私は、修士論文の作成に入ってからが大変でした。何をどのように書いていくべきか、終わりが見えない試行錯誤が続きました。1年時が知識や理論のインプットならば、2年時はアウトプット。座学の苦しみは存分に味わいました。先行研究を踏まえつつ、自らの考察を適切な言葉で表現しなければならないので、文章力もつきましたし、論理性も飛躍的にあがったと感じています。

菅原　修士論文は、本当に先生の助けがあったからこそ完成できたと思います。研究テーマに対して、先生も本当に真剣に向き合ってくれているから、指摘に従うと内容が格段にレベルアップします。そのやりとりも濃密で、モノの見方や他人への伝え方もずいぶん変わったと思います。仕事でも、最初は学んだことをそのまま話していたのでうまく伝わらなかったのですが、最近は「こういうことを言いたかったんですね」と言ってもらえるようになりました。意識していませんでしたが、マネジメント力が上がったんだと思います。

寺師　ちょうど修士論文の作成がはじまったばかりなので、お二人のおっしゃることはよくわかります。先生とコミュニケーションを図る機会がとにかく多いので、深く物事を考えるようになりました。それに、自然と論理的に組み立てて話をするようになるので、海外の取引先とのやりとりも以前よりスムーズになりました。外国の方は日本人に比べて論理的な話の進め方をしますから。

――最後に、これからHBSへの入学を目指す人にメッセージをお願いします。

神谷　HBSは、学ぶ中で自分を根源的に問うことができる場所だと思います。だから、仕事に慣れて次の目標が見つからない人、新しい自分を創り出したい人にぴったりです。

菅原　想像以上に先生との距離が近く、自分の潜在能力を引き出してもらえる場所だと思います。それに、いろいろな講義を受講できて広く学べるのもポイントです。想像もしなかった問題意識に出会えるので人生の楽しさが広がると思います。

寺師　先ほど神谷さんも話されていましたが、とにかくコストパフォーマンスは抜群です(笑)。私のように家庭を持っている人でも無理なく出せる金額で、質の高い学びができて、MBAも取得できる。ワンランク上のビジネスパーソンを目指すなら、選択肢に入れておいて損はないんじゃないでしょうか。

――みなさん、本日はお忙しいところどうもありがとうございました!

人の行動の本質に迫ることで真のマーケティングが見えてくる講義も!

マーケティングコースの人気講義、西川英彦教授の「マーケティング・リサーチ論」では、リサーチのプロセスや手法を理解し、実践していく。身近な事象をテーマに講義を進めるなかで、人の行動の本質を論理的に理解できると評判。

西川英彦(にしかわひでひこ)教授
(株)ワールド、ムジ・ネット(株)取締役、立命館大学教授を経て現職。専攻はマーケティング論、ユーザー・イノベーション論。著書多数。

意思決定能力やマネジメント能力も向上させるHBSの教育システム

法政ビジネススクールの教育の柱は「講義」「ワークショップ」「修士論文」の3つ。「講義」は所属コースだけでなく、他コースのそれも受講可能であり、幅広く自分に合った知識が習得できる。「ワークショップ」は、その知識を生かした実践的なケーススタディの場として機能。そして、ビジネススクールには珍しく「修士論文」の執筆を課しているのが大きな特長だ。では、なぜ修士論文が必要なのか。実務に密接したテーマを単に掘り下げるだけでなく、論理的に深く、そして広く考察できるのがその理由。そのプロセスを経ることにより、ビジネスでの意思決定能力やマネジメント能力を著しく向上させることが可能なのだ。約900名の修了生が多彩なフィールドで活躍しているのがその証といえるだろう。

講義　ワークショップ　修士論文

問い合わせ先　法政大学大学院経営学研究科経営学専攻<夜間>(法政ビジネススクール)
東京都新宿区市谷田町2-15-2 TEL.03-5228-0551 http://hbs.ws.hosei.ac.jp/

■ MBAセミナー進学相談会日程(予定) 7/12(土)、10/25(土)、2015年1/10(土)
■ 2015年度入試情報 ▶秋季入試出願期間 11/5(水)～11/12(水)／試験日 11/30(日)
▶春季入試出願期間 2015年2/3(火)～2月10日(火)／試験日 2015年2/28(土)
※詳細は法政大学大学院HPでご確認ください。

出典:日経キャリアマガジン
「社会人の大学院ランキング2015」(日経HR／2014年7月発行)